

2022年アートパラ深川大賞 応募要項

2022年10月、9日間にわたり東京・江東区深川エリアの街全体が美術館になります。

「2022アートパラ深川大賞」は、まだ世の中に知られていないアーティストに光をあて、障がいのあるアーティストが描くアートの魅力と価値を社会に伝えます。

アートの力が人々を引き寄せ、おしゃべりを楽しみ、お互いを認め合い、そして支え合う。

「共に生きる」社会を目指す手作りの芸術祭をお楽しみください。

【主催】 アートパラ深川おしゃべりな芸術祭実行委員会

【応募資格】 社会生活において何らかの障がいのある方（年齢制限なし）

※障がいの内容は審査に影響しません。

【応募点数】 1人（1グループ）につき1点

【出品規格】 縦横1.5m以下（額装込み、梱包時のサイズ）の平面作品。テーマは自由。

応募者のオリジナル作品で、過去に受賞歴のないものに限りです。

※ 他者の著作権、商標権、肖像権等、その他の権利を侵害しないものに限りです。

※ 危険・有害・違法な作品、また腐敗や異臭、短期間で状態変化を伴う作品等は応募できません。

【受付期間】 2022年5月23日（月）～2022年7月11日（月）当日消印有効

【応募料金】 無料

※ただし、応募書類や入選作品の送料及び返却料は応募者の負担となりますので、予めご了承ください。

【審査方法】 ◎一次審査 [画像又は写真による審査]

◎二次審査 [実物による審査]

【一次審査（画像又は写真による審査）】

2022年7月下旬に一次審査を実施し、約120～130作品の入選作品を選考します。

審査結果は7月下旬より順次メールにて通知します。

◎一次審査を通過した入選作品は額装の上、作品の破損を防ぎつつ、容易に開梱できる状態で8月19日（金）（必着）までに事務局が指定する場所へ送付してください。

◎一次審査を通過した入選作品は、会期期間中全て会場に展示させていただきます。

【二次審査（実物作品による審査）】

8月下旬に二次審査を実施し、一次審査を通過した入選作品の中から各入賞作品を決定します。

翌年には、入賞作品のミニ個展「アートパラ・マーケット・フェア（AMF）」

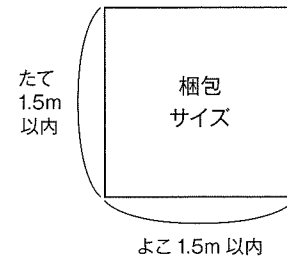
【希望者には販売もサポート】に出展いただけます。

【応募方法】 アートパラ深川おしゃべりな芸術祭のウェブサイト・応募要項の [応募フォーム] より

必要事項を記載し、画像を添付の上、ご応募ください。

※応募フォームでの対応が難しい場合には、郵送での応募を受け付けています。

詳しくは事務局までお問い合わせください。



【賞】 賞金は芸術活動支援金としてお渡しいたします。

大賞・1点（50万円）／準大賞・2点（10万円）／江東区長賞・1点（5万円）／

審査員特別賞・5点（5万円）／協賛企業賞・30点程度

※入賞作品については、2022年9月上旬頃、個別にご連絡します。

【展示期間】 2022年10月15日（土）～10月23日（日）

※入場料はいずれも無料

【展示場所】 ◎深川江戸資料館 地下1F展示室（東京都江東区白河1丁目3-28）

◎森下文化センター AV ホール（東京都江東区森下3丁目12-17）

【表彰式】 10月15日（土）（予定）

会場等の詳細は、決定次第各賞授賞者へご連絡します。

【作品返却】 二次審査でお預かりした作品については、展示会終了後、順次返送します。

※作品返却は、原則として宅配業者による通常宅配便（ワレモノ扱い / 美術品扱いではありません）での運送になります。

※作品返却時の梱包材は、作品受領時のものをそのまま再利用しますので、送付時の作品保護には十分配慮して梱包してください。

作品応募時の梱包を再利用いたしますので、作品の保護には十分配慮して梱包してください。

【注意事項】 【入選作品の保管について】 一次審査を経て送付された入選作品は、返送するまでの期間、主催者の管理下で一時保管しますが、不慮の損害（破損・汚損等）についてはいかなる場合も責任を負わないものとします。

※損害保険への加入契約は、応募者個人の自由意思によるものとします。

【入選・入賞作品の著作権について】 入選・入賞作品は、新聞、雑誌、テレビ、ホームページなどの広報活動、本公募展に関する報告資料・記録資料、次回の芸術祭に向けたヴィジュアルとして無償で利用させていただく場合があります。また利用に際して、入選・入賞作品の内容・表現・題号の変更、著作権の部分使用、入選・入賞者の氏名表示省略等を行う場合があります。 ※著しい改変や変更を行う場合には、事前に著作者に連絡します。

【個人情報の取り扱いについて】 応募時にご登録いただいた個人情報に関しては、入選・入賞の連絡、及び作品の返却と個人を特定しない統計として利用させていただき、ご本人または代理の方の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示しません。また入選・入賞した場合には、入選・入賞者の氏名・年齢・居住地（都道府県まで）を展示会・ウェブサイト等において公開する場合があります。

お問い合わせ

ご不明な点はメールにてお問い合わせください。

〒135-0045 東京都江東区古石場3-11-17 福島デザイン内 アートパラ深川大賞2022 係

TEL : 03-4400-9298 [月・木・金 10:00～16:00]

Email : 2022competition@artpara-fukagawa.tokyo

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭ウェブサイト

<http://www.artpara-fukagawa.tokyo>

※応募要項はウェブサイトからもダウンロードできます。

審査員 ※順不同



林 真理子 [審査委員長]
Mariko Hayashi
作家

コシノジュンコ
Junko Koshino
デザイナー

假屋崎省吾
Shogo Kariyazaki
華道家

杉本志乃
Shino Sugimoto
アートコンサルタント

中津川浩章
Hiroaki Nakatsugawa
アーティスト/アートディレクター

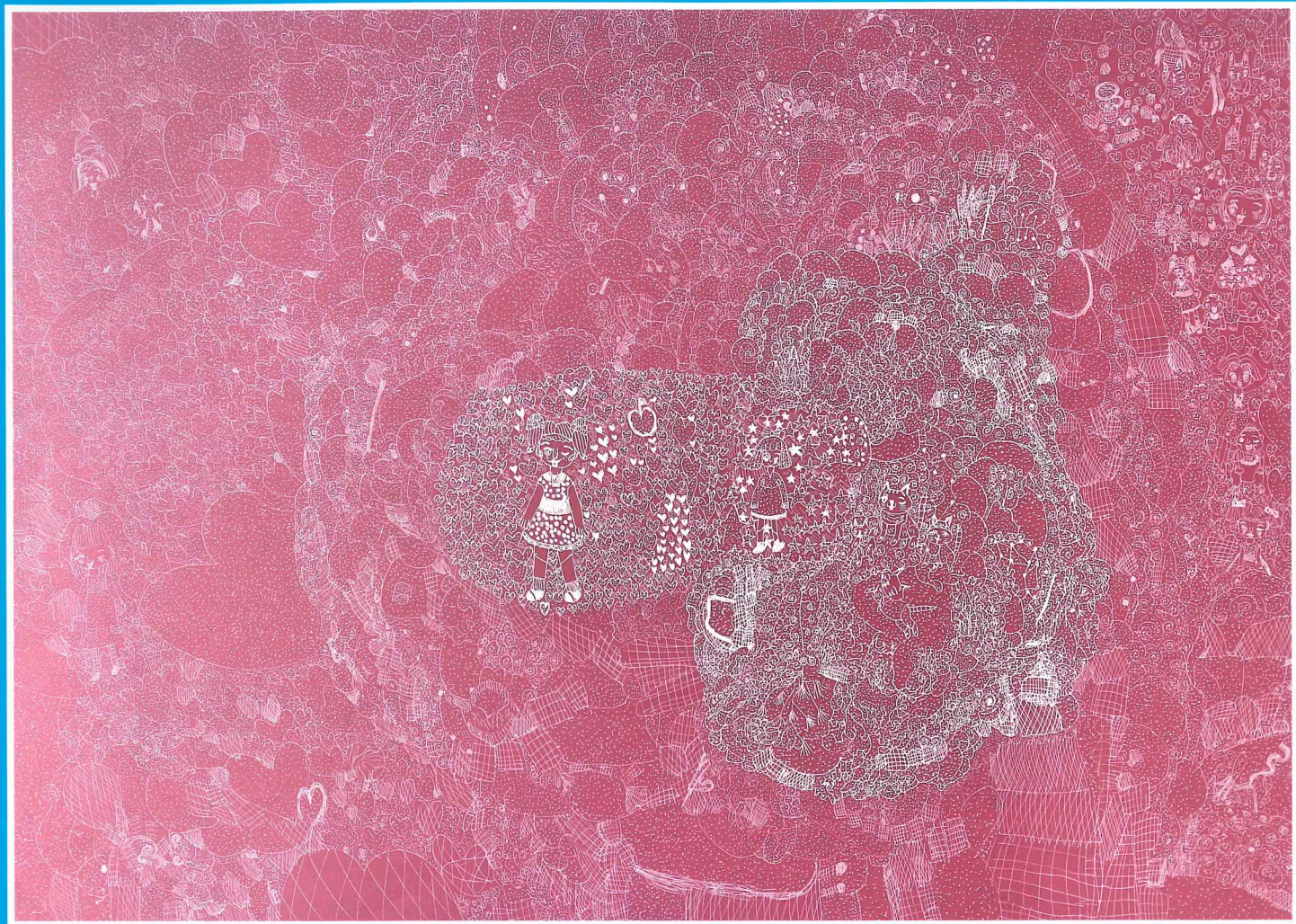
1954年4月1日、山梨県に生まれる。1976年日本大学芸術学部文芸学科を卒業。コピーライターを経て、1982年エッセイ集『ルンルンを買っておうちに帰ろう』を出版。1984年処女小説『星影のステラ』が直木賞候補に選出されたことを機に、執筆業に専念。1985年『最終便に間に合えば』[京都まで]により第94回直木賞を受賞。1995年『白蓮れんれん』により第8回柴田錬三郎賞を受賞。1998年『みんなの秘密』により第32回吉川英治文学賞を受賞。2000年直木賞選考委員に就任。他、数々の文学賞の選考委員を務める。2011年レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ受賞。2013年『アスクレピオスの愛人』により第20回島清恋愛文学賞を受賞。2018年紫綬褒章受賞。『2020(令和2)年、第68回菊池寛賞受賞、また『同一雑誌におけるエッセーの最多掲載回数』においてギネス世界記録認定を受ける。』

1978年から22年間パロレクショに参加。NY(メトロポリタン美術館)、北京、ベトナム、ポーランド、キューバ、スペインなどでショーを開催。国際的な文化交流に力を入れる。オペラ『魔笛』や『蝶々夫人』、ブロードウェイミュージカル『太平洋序曲』(トニー賞ノミネート)の舞台衣装、花火のデザイン等を手掛ける他、国内被災地への復興支援活動も行う。VISIT JAPAN 大使、2025年日本国際博覧会協会シニアアドバイザー、文化庁「日本博」企画委員、文化功労者。2021年フランス政府より「レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ」受章。近著『コシノジュンコ56の大丈夫』(世界文化社)。毎週日曜日17時~17時30分TBSラジオ「コシノジュンコMASACA」放送中。

假屋崎省吾 花教室 主宰。美輪明宏氏より「美をつむぎだす手を持つ人」と評され、日本初の「華道家」として世界各地で「いけばな」を広める活動にも精励する。クリントン大統領来日時、明仁天皇御即位10年記念式典、明仁天皇御退位・徳仁天皇御即位スタジアム装花、花博覧会のプロデュースなどを手掛け、女子美術大学・客員教授、フランス観光親善大使、オランダチューリップ大使などを務め、「シンビジウムのコサージュ展示(7,585個)」の世界ギネス記録にも認定される。着物、ガラス器、ジュエリー、棺、骨壺などのデザイン・プロデュースをおこない、デザイナーとしての才能を発揮。また、ライフワークでもある花と建物のコラボレートとなる個展「歴史的建築物に挑む」を開催、世界でも展覧会を開催し国内外で目覚ましい活動を展開している。その他、「花育」「少子化問題」「伝統工芸品の振興促進」などの地域活動を促す社会ボランティア活動も積極的に取り組み、華道歴40年を迎え益々活躍の場を広げている。假屋崎省吾 花教室 銀座校オープン! お問い合わせ 03-6712-6873 <http://www.kariyazaki.jp/>

アートコンサルタント。ロンドン Sotheby's Instituteにて装飾美術・現代美術コース終了。吉井画廊、hiromi yoshii 勤務後、2009年(株) FOSTER 設立。美術品販売及び利活用に関するコンサルティング業務を行う。2017年「アール・ブリュット? アウトサイダーアート? それとも? そこにある価値」展、2019年「現代アウトサイダー・アート リアルー 現代美術の先にあるもの」を GYRE GALLERYにて主催。2017年日本財団主催「障がい者芸術フォーラム」パネリスト、調布市文化コミュニティ振興財団「アール・ブリュットへようこそ」講師。2018年より一般社団法人 Arts and Creative Mind 代表理事。

アーティスト/アートディレクター/表現活動研究所ラスコー代表。1958年静岡県生まれ。美術家としての作品制作と同時に多様な分野で社会とアートをつなぐ活動をおこなう。表現活動ワークショップ、バリアフリーアートスタジオ、美術史WS、講演等で表現することの意味と大切さを伝えている。障害者のためのアートスタジオディレクション、展覧会企画・プロデュース、キュレーション、選考委員など多数務める。「岡本太郎とアールブリュット」(川崎市岡本太郎美術館)、「about me」わたしを知って「ビッグ・アイアートプロジェクト」(国際障害者交流センター)、埼玉県障害者アート企画展、日本財団 DIVERSITY in the ARTS 公募展、Art to you! 東北障がい者芸術全国公募展、宮崎県国文祭・芸文祭障がい者アート展ほか。NPO法人エイブル・アート・ジャパン 理事、認定NPO法人アール・ド・ヴィーヴル 理事、一般社団法人 Art Inter Mix 代表、一般社団法人 Get in touch 理事。



Artist: 南部たき Title: ♡今、ハートが、いっぱいです♡

ARTPARA FUKAGAWA 2022

アートパラ深川大賞2022・応募要項

[主催]

ARTPARA
FUKAGAWA

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭実行委員会
〒135-0045 東京都江東区古石場 3-11-17 福島デザイン内アートパラ深川事務局
TEL:03-4400-9298 [月・木・金 10:00~16:00]
Email: 2022competition@artpara-fukagawa.tokyo

一般社団法人アートパラ深川
〒135-0047 東京都江東区富岡 1-24-4-2F メモリアルスタイル内 TEL:03-5809-8966
<https://www.artpara-fukagawa.tokyo/>